

平成 31 年度予算主要事業の概要 (事業別説明資料)

基盤整備部



* 元号の表記について

「平成」は平成 31 年 4 月 30 日までとなりますが、新しい元号がまだ決定していないため、本冊子においては同年 5 月 1 日以降についても「平成」により表記します。

目 次

土地改良事業	1
林道整備事業	2
市道等の安定的な除雪	3
道路関連交付金事業	4
橋梁関連交付金事業	5
公共土木施設維持修繕事業	6
地域基盤振興費の創設	7
災害復旧事業	8
防災重点ため池ハザードマップの作成	9
公共トイレ改修事業	10
都市公園の長寿命化対策	11
気多公園の再整備	12
古川祭屋台曳行の支障となる電線等の移設	13
神岡地区都市再生整備計画事業	14
市営住宅の長寿命化対策	15
住宅新築・購入費用の支援	16
住宅性能向上リフォームの支援	17
ひとり親家庭への住宅支援	18
住宅・民間建築物などの耐震化の促進	19
安全・安心な市有建築物の整備	20
民間が行う宅地分譲整備の支援	21
市道壱之町線の無電柱化	22
神岡地区街なみ環境整備事業	23

継続 土地改良事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】												
43,180	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">県支出金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">4,800</td> </tr> <tr> <td>過疎債</td> <td style="text-align: right;">17,200</td> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td style="text-align: right;">10,560</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">10,620</td> </tr> </table>	県支出金	4,800	過疎債	17,200	分担金	10,560	一般財源	10,620	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">工事請負費</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">17,300</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">25,880</td> </tr> </table>	工事請負費	17,300	負担金	25,880
県支出金	4,800													
過疎債	17,200													
分担金	10,560													
一般財源	10,620													
工事請負費	17,300													
負担金	25,880													
（前年度予算 69,803 ）														

2 事業背景・目的

市内の農業用施設は、建設から相当の年数が経過しており老朽化が進行しています。そのため農業基盤（農道、農業用水路等）の再整備により、農業経営の安定化・営農意欲の向上を図ることを目的に、以下の事業を計画的に行います。

3 事業概要

① 県営土地改良事業（24,635千円）

- ・ 県営中山間地域総合整備事業（飛騨西部地区） H28～H33
- ・ 県営中山間地域総合整備事業（北古城地区） H31～H36
- ・ 県営かんがい排水事業（高原用水） H30～H33

② 県単土地改良事業（12,000千円）

- ・ 農道舗装1件、水路2件

③ 市単土地改良事業（5,300千円）

- ・ トンネル設備1件、水路1件
- ・ 災害防除工事等

④ 土地改良施設維持管理適正化事業（1,245千円）

- ・ 土地改良施設維持管理適正化事業拠出金 3件

(款) 6 農林水産業費	(項) 1 農業費	(目) 5 農地費	
所 属	基盤整備部建設課 TEL0577-73-3936	予算書	P.94

継続 林道整備事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
128,400	県支出金 77,850 ふるさと創生基金 9,391 辺地債・過疎債 29,200 一般財源 11,959	工事請負費 128,400

（前年度予算 201,650 ）

2 事業背景・目的

飛騨市は、市域の約93%を森林が占めていますが、広大な森林には木材生産機能だけではなく、水源涵養や山地保全の防災機能等の発揮が求められています。そのため森林施業の基盤である林道や橋梁等の整備・保全をすすめることで、林業従事者が安心して施業できる環境の整備を図ります。

3 事業概要

① 公共林道整備事業（98,800千円）

- ・ 森安～万波線開設工事（宮川）
- ・ 瀬戸橋（双六～瀬戸線）橋梁補修工事（神岡）

② 県単林道整備事業（16,500千円）

路側改良・舗装改良工事

- 古川：洞～数河線（路側）
- 宮川：森安～万波線（路側）
- 神岡：双六～瀬戸線（舗装）

③ 市単林道整備事業（13,100千円）

- ・ 舗装1件
- ・ 側溝修繕2件
- ・ 交通安全施設1件
- ・ 災害防除工事等

(款) 6 農林水産業費	(項) 2 林業費	(目) 4 林道費	
所 属	基盤整備部建設課 TEL0577-73-3936	予算書	P. 98

継続 市道等の安定的な除雪

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
387,728	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">国県支出金</td> <td style="width: 33%; text-align: right;">44,933</td> </tr> <tr> <td>過疎債</td> <td style="text-align: right;">15,700</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">327,095</td> </tr> </table>	国県支出金	44,933	過疎債	15,700	一般財源	327,095	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">委託料</td> <td style="width: 33%; text-align: right;">304,768</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">47,900</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">35,060</td> </tr> </table>	委託料	304,768	備品購入費	47,900	その他	35,060
国県支出金	44,933													
過疎債	15,700													
一般財源	327,095													
委託料	304,768													
備品購入費	47,900													
その他	35,060													
(前年度予算 401,425)														

2 事業背景・目的

市が管理する道路等において冬季の通行を確保するため、除雪機械や消融雪施設、凍結防止剤の散布等による道路除雪を行うとともに、高齢化等による除雪要望の増加に対応するため、既存除雪機械の計画的な更新とニーズに合わせた除雪機械の新規導入を行います。

また、消雪装置について既存の消雪管路の保守点検、洗浄等の修繕を行います。

3 事業概要

① 除雪に要する経費 (322,873千円)

- ・ 除雪委託料、直営オペレーター賃金、機械・設備の保守点検及び修繕など

② 消融雪施設に要する経費 (16,514千円)

- ・ 光熱水費 (電気料金)、設備の保守点検など
- ・ 消雪施設の改良 市道野中～小島線 (古川) 【再掲】
- ・ 消雪井戸の洗浄等 杉崎地内ほか (古川) 【再掲】

③ 除雪機械の更新・購入に要する経費 (47,991千円)

- ・ ロータリー除雪車1台を更新します。

④ 除雪機械貸し出し・ボランティア除雪に要する経費 (350千円)

- ・ 機械借上料、燃料費等の支援をおこないます。

(款)	8 土木費	(項)	2 道路橋梁費	(目)	1 道路橋梁総務費 2 道路維持費
所 属	基盤整備部建設課		TEL0577-73-3936	予算書	P.106～108

継続 道路関連交付金事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
254,500	国庫支出金 132,485 辺地債・過疎債 113,900 一般財源 8,115	委託料 18,000 工事請負費 231,500 その他 5,000
(前年度予算 352,100)		

2 事業背景・目的

国の補助事業を活用し、市民生活にとって欠くことのできない主要な市道の改良整備や老朽化対策（補修）、交通安全・防災対策などを実施し、快適で住みよいまちづくりを推進します。

3 事業概要

① 社会資本整備総合交付金事業 (246,000千円)

市道の新設・改良、補修、交通安全対策等、道路の整備・保全を包括的に実施します。

○道路改良事業

【道路改良】市道釜崎～朝浦線（神岡） 【消雪改良】市道野中～小島線（古川）

○防災・安全事業

【法面对策】市道小豆沢線（宮川）、市道蟻川～相生線（神岡）、市道林～丸山線（宮川）、市道森安～西忍線（宮川）、市道第2梨ヶ根線（神岡）

【側溝補修】市道向町南部10号線（古川）、市道川向線（河合）、市道菅沼～ニコイ線（宮川）、市道薬師～野首線（神岡）

○交通安全対策事業

【側溝蓋設置等】市道弍之町線（古川） 【側溝修繕】市道新栄町1号線（古川）

【歩行帯着色】杉崎12号線（古川）

○官民連携無電柱化支援事業 市道壺之町線（古川）【再掲】

② 道整備交付金事業 (8,500千円)

市道と林道の一体的な整備により地域道路ネットワークを構築し、災害に強いまちづくりを推進します。

○道路改良事業 市道跡津川線（神岡）

(款)	8 土木費	(項)	2 道路橋梁費	(目)	3 道路新設改良費
所 属	基盤整備部建設課 TEL0577-73-3936			予算書	P.108

継続 橋梁関連交付金事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】										
54,000	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">国庫支出金</td> <td style="text-align: right;">32,065</td> </tr> <tr> <td>過疎債</td> <td style="text-align: right;">12,400</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">9,535</td> </tr> </table>	国庫支出金	32,065	過疎債	12,400	一般財源	9,535	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">委託料</td> <td style="text-align: right;">46,000</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">8,000</td> </tr> </table>	委託料	46,000	工事請負費	8,000
国庫支出金	32,065											
過疎債	12,400											
一般財源	9,535											
委託料	46,000											
工事請負費	8,000											
(前年度予算 59,500)												

2 事業背景・目的

市では、平成25年の道路法改正に伴い5年毎の定期点検が義務付けられた延長2m以上の全ての橋(340橋)について順次点検を実施しています。そのうち、点検結果により早期に対策が必要と判定された橋について、国の補助事業(社会資本整備総合交付金)を活用し、順次補修対策を行います。

3 事業概要

道路法に基づく橋梁の定期点検と補修工事を実施します。

- 定期点検 70橋 (市内全域)
- 補修設計
 - 阿曾布橋 (神岡町麻生野)
 - 千歳橋 (神岡町船津)
 - 東打保橋 (神岡町山田)
 - おゆう橋 (神岡町山田)
- 補修工事
 - 尾の花3号橋 (河合町稲越)
 - 朝川原2号橋 (河合町稲越)

(款) 8 土木費	(項) 2 道路橋梁費	(目) 4 橋梁維持費	
所 属	基盤整備部建設課 TEL0577-73-3936	予算書	P.108

継続 公共土木施設維持修繕事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】														
164,000	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">県補助金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">12,000</td> </tr> <tr> <td>社会基盤維持基金他</td> <td style="text-align: right;">31,000</td> </tr> <tr> <td>辺地債・過疎債他</td> <td style="text-align: right;">86,500</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">34,500</td> </tr> </table>	県補助金	12,000	社会基盤維持基金他	31,000	辺地債・過疎債他	86,500	一般財源	34,500	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">委託料</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">48,000</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">109,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">7,000</td> </tr> </table>	委託料	48,000	工事請負費	109,000	その他	7,000
県補助金	12,000															
社会基盤維持基金他	31,000															
辺地債・過疎債他	86,500															
一般財源	34,500															
委託料	48,000															
工事請負費	109,000															
その他	7,000															

(前年度予算 106,000)

2 事業背景・目的

補助事業の活用が見込めない小規模な道路改良や舗装・側溝改良工事のほか、交通安全施設の整備、急傾斜地の対策など、安全・安心なまちづくりのため、各種基盤の整備を行います。

3 事業概要

① 交通安全施設整備事業 (8,000千円)

- ・道路区画線、防護柵、カーブミラーの設置など

② 市単道路新設改良・道路維持補修事業 (138,000千円)

- ・道路改良 市道朝川原線 (河合)
- ・舗装修繕 市道是重20号線 (古川)、市道下野上段1号線 (古川)
市道下村～中切線 (河合)、市道菅沼1号線 (宮川)
市道袖川線 (神岡)、市道森茂線 (神岡)
市道西里橋詰～坂巻線 (神岡)
- ・側溝改良 市道流葉～上山田線 (神岡) 他
- ・消雪井戸の修繕 古川町地内

③ 急傾斜地対策事業 (18,000千円)

- ・谷地区急傾斜地工事 (古川)

(款) 2 総務費	(項) 2 総務管理費	(目) 10 交通安全対策費
(款) 8 土木費	(項) 2 総務管理費	(目) 3 道路新設改良費
(款) 8 土木費	(項) 3 河川費	(目) 2 急傾斜地対策事業費
所 属	基盤整備部建設課 TEL0577-73-3936	予算書 P.54・108～109

改革 地域基盤振興費の創設

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
150,000	社会基盤維持基金 25,000 一般財源 125,000	委託料 2,700 工事請負費 139,300 その他 8,000
(前年度予算 110,000)		

2 事業背景・目的

市道や、農道、林道、農業用水路、河川等の維持修繕費として目的ごとに区分していた予算を、従来の地域振興費に統合し「地域基盤振興費」とすることにより、各地域から寄せられる道路や水路の修繕など様々な要望に対し、各振興事務所の判断で、より迅速かつ柔軟にきめ細かく対応します。

3 事業概要

各町の市道面積に応じて予算を配分し、市道や農道、林道、また農業用水路や河川等の修繕工事など、各地域の実情に沿ったきめ細やかなハード整備を行います。

○地域ごとの事業費

- ・古川町分 59,000千円 ・河合町分 18,500千円
- ・宮川町分 16,500千円 ・神岡町分 56,000千円



改 修 前



改 修 後

(款) 8 土木費	(項) 1 土木管理費	(目) 2 基盤振興費	
所 属	基盤整備部建設課 TEL0577-73-3936	予算書	P.106

継続 災害復旧事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
462,187	国県支出金 343,990 災害復旧債 81,100 一般財源 37,097	工事請負費 458,000 その他 4,187
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

平成30年7月豪雨により被災した農地農業用施設、林道、市道や河川について、早期に復旧工事を行うことにより機能の回復を図り、災害に強い快適で住みよいまちづくりを推進します。

3 事業概要

① 農地農業用施設補助災害復旧事業 (40,000千円)

- ・ 農地災害復旧事業 古川町数河地内
- ・ 農業用施設災害復旧事業 古川町数河地内

② 林業用施設補助災害復旧事業 (30,000千円)

- ・ 林道災害復旧事業 林道四十八滝～猪臥線 (古川町)

③ 公共土木施設補助災害復旧事業 (366,000千円)

- ・ 道路災害復旧事業 市道林～丸山線 (宮川)、市道菅沼～ニコイ線 (宮川)、市道小谷線4箇所 (宮川)
- ・ 河川災害復旧事業 普通河川ソウツイ谷川 (河合)、普通河川菅沼谷川 (宮川)、普通河川コカ谷川 (宮川)、普通河川小谷川5箇所 (宮川)

④ 公共土木施設単独災害復旧事業 (26,187千円)

- ・ 河川災害復旧事業 普通河川どした谷 (古川町末真)、普通河川登谷 (古川町末真)、普通河川上久保川、(古川町太江)、普通河川菅沼谷川 (宮川町種蔵)、倉ノ坪谷川 (神岡町西) 他

(款) 11 災害復旧費	(項) 1 農林水産業施設災害復旧費	(目) 1 農地農業用施設災害復旧費	
(款) 11 災害復旧費	(項) 1 農林水産業施設災害復旧費	(目) 2 林業用施設災害復旧費	
(款) 11 災害復旧費	(項) 2 公共土木施設災害復旧費	(目) 1 土木施設災害復旧費	
所 属	基盤整備部建設課 TEL0577-73-3936	予算書	P.133～134

新規 防災重点ため池ハザードマップの作成

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,400	国庫支出金	2,400 委託費
		2,400

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

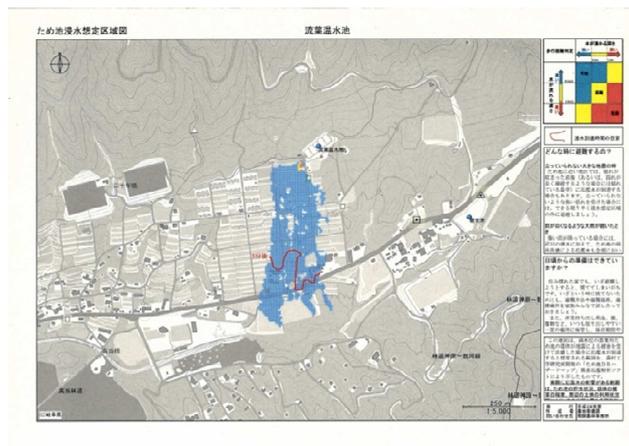
平成30年7月豪雨により、全国で多くの小規模なため池が決壊し被害が生じました。これを踏まえ、国では防災重点ため池の選定の見直しを行い、新たな基準により見直しが行われた結果、市内で6箇所が選定されました。

このことから、これらのため池について、ハザードマップ（浸水想定区域図）を作成し、緊急時の迅速な避難行動につなげます。

3 事業概要

○ 防災重点ため池ハザードマップ作成業務委託 (2,400千円)

- ・ 古川町下気多地区 3箇所
- ・ 古川町上野地区 1箇所
- ・ 古川町寺地地区 1箇所
- ・ 宮川町三川原地区 1箇所



(ハザードマップの例)

(款) 6 農林水産業費	(項) 1 農業費	(目) 5 農地費	
所 属	基盤整備部建設課 Tel.0577-73-3936	予算書	P. 94

継続 公共トイレ改修事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
8,240	公共施設管理基金 5,200 一般財源 3,040	工事請負費 8,040 修繕料 200

(前年度予算 5,185)

2 事業背景・目的

市内の公共トイレは、市民や観光客が利用する行政施設や観光施設、教育施設など多岐にわたります。子どもやお年寄りなど人に優しいトイレへの改修は、市のイメージアップに繋がる重要な施策であり、特に汲み取りトイレの解消や洋式化など清潔なトイレへの転換は早急に行う必要があります。

このため、今後も利用者の多い公共施設など優先すべき箇所から、計画的に改修や除去を進めます。

3 事業概要

○ 公共トイレ改修事業

- ・ハートピア古川トイレ (温水洗浄便座)
- ・飛騨まんが王国トイレ (温水洗浄便座)
- ・神岡町公民館トイレ (洋式化)
- ・森林公園トイレ (洋式化)
- ・飛騨市文化交流センター楽屋トイレ (温水洗浄便座)
- ・本町防災公園トイレ (多目的ベッド取付)

(款) 4 衛生費	(項) 1 保健衛生費	(目) 5 保健センター管理費
(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費
(款) 8 土木費	(項) 4 都市計画費	(目) 2 公園費
(款) 10 教育費	(項) 4 社会教育費	(目) 5 公民館費
(款) 10 教育費	(項) 4 社会教育費	(目) 7 文化施設費
(款) 10 教育費	(項) 5 保健体育費	(目) 3 体育施設費
所 属	基盤整備部都市整備課 他 TEL0577-73-0153	予算書 P.82・103・110・126・128・131

継続 都市公園の長寿命化対策

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
91,100	国庫支出金 45,500 過疎債 45,500 一般財源 100	工事請負費 91,100
(前年度予算 26,100)		

2 事業背景・目的

都市公園は、市民の憩い・交流・健康増進などで活用され、地域生活にとって非常に重要な役割を果たしています。その一方で、園内の遊具や施設は老朽化が進んでいるため、順次施設の更新を図りながら、公園の利用促進をさらに図る必要があります。

このため、「公園施設長寿命化計画（平成30年度～平成39年度）」に基づいて計画的な整備を行い、整備コストの平準化やライフサイクルコストの縮減を図ります。

3 事業概要

○ 坂巻公園野球場照明設備改修工事

市民に安心して公園を利用してもらうために、劣化や損傷が著しい神岡町坂巻公園の野球場における、老朽化した照明設備の灯具更新を行います。



老朽した坂巻公園の野球場照明

(款)	8 土木費	(項)	4 都市計画費	(目)	2 公園費
所 属	基盤整備部都市整備課	Tel0577-73-0153	予算書	P. 110	

拡充 気多公園の再整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
7,500	ふるさと創生基金	3,500	委託料	3,500
	過疎債	4,000	工事請負費	4,000

(前年度予算 5,700)

2 事業背景・目的

都市公園である気多公園は「四季折々、心静かに自然を楽しめる公園」をコンセプトに、平成28年度より倒木の恐れのある老木の伐採や樹木の捕植などの整備を順次行ってきました。

平成30年3月には市内企業から藤園を譲渡いただき、雪害等で弱っている藤に対し剪定や追肥など維持管理を行いました。

平成31年度は、藤園との一体的な景観整備や施設の安全対策を行い、市民の憩いの場として気軽に利用できるよう整備を行うものです。

3 事業概要

①【拡充】藤園管理及び公園内樹木の伐採 (3,500千円)

藤園に多くの市民が訪れ憩いの場としてより活用がされるよう、5年後の平成36年度を目標として老朽化した藤の維持管理を継続的に行います。また、景観を阻害している樹木や台風等により倒木の恐れのある樹木の伐採もあわせて実施します。

②【拡充】公園内施設の整備 (4,000千円)

正面石階段の安全の確保、イベントテント等が設置できるステージ床面の整備をおこないます。



景観を配慮した樹木の伐採



急な正面石階段の安全性の確保

款)	8 土木費	(項)	4 都市計画費	(目)	2 公園費
所 属	基盤整備部都市整備課		TEL0577-73-0153	予算書	P.110

継続

古川祭屋台^{えいこう}曳行の支障となる電線等の移設

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
10,000	県支出金 5,000 ふるさと創生基金 5,000	補償費 8,000 工事請負費 1,200

(前年度予算 8,053)

2 事業背景・目的

古川祭屋台の曳行にあたっては、道路上にある電線等が支障となっており、平成28年には屋台の屋根が通信ケーブルと接触し破損する事故も発生したことから、同12月に道路上空を新たに横断する電線の高さを制限する条例を制定しました。

しかし、既に設置されている電線については条例の適用外であり、現状のまま残っていることから、既存電線においても電線管理者や各屋台組と協議・調整を行い、支障となる電線の移設や地上高を上げる工事を計画的に進めます。

3 事業概要

古川祭屋台曳行の支障となる電線等の移設や地上高を上げる工事を実施します。

- ・電線等の移転補償費 (中部電力、NTT他)
- ・外灯などの移設工事費 (市施工)



電線に接触し破損した祭屋台の屋根部



屋台曳行に支障となる電線

(款)	8 土木費	(項)	4 都市計画費	(目)	3 まちづくり整備事業費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P. 110

拡充 神岡地区都市再生整備計画事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
12,567	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">国庫支出金</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">4,920</td> <td style="width: 50%;">工事請負費</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">10,400</td> </tr> <tr> <td>過疎債</td> <td style="text-align: right;">6,100</td> <td>調査委託料</td> <td style="text-align: right;">2,100</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">1,547</td> <td>委員旅費等</td> <td style="text-align: right;">67</td> </tr> </table>	国庫支出金	4,920	工事請負費	10,400	過疎債	6,100	調査委託料	2,100	一般財源	1,547	委員旅費等	67	
国庫支出金	4,920	工事請負費	10,400											
過疎債	6,100	調査委託料	2,100											
一般財源	1,547	委員旅費等	67											
(前年度予算 10,100)														

2 事業背景・目的

神岡町市街地に残る豊富な歴史資源を活かしたまちづくりが進められる中、近年増加しているレールマウンテンバイクの観光客を街なかへ誘導し、市街地の賑わいや活力の創出を図る必要があります。

レールマウンテンバイクの出発地点(旧奥飛驒温泉口駅)に近接する坂巻公園内において、来訪者等がゆっくりくつろげる街なか回遊ポイントとして、旧テニスコート部分の再整備を行います。

3 事業概要

①【新規】都市再生整備計画事業の効果分析(2,167千円)

これまでの5ヵ年間(平成27年度～平成31年度)に実施した本事業の効果分析と評価を行います。

②【継続】坂巻公園旧テニスコートの芝広場再整備(10,400千円)

使用されていない坂巻公園旧テニスコートを芝生広場にリニューアルし、市民や来訪者等の親子連れがくつろぎ、交流できる空間を整備します。

- ・東屋、横断防止策、ベンチの設置



老朽化が著しいテニスコート

(款)	8 土木費	(項)	4 都市計画費	(目)	3 まちづくり整備事業費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P.110

継続 市営住宅の長寿命化対策

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
10,300	国庫支出金 4,635 一般財源 5,665	工事請負費 10,300

(前年度予算 28,000)

2 事業背景・目的

市営住宅は、これまでは不具合が生じた時点で修繕を行ってききましたが、住宅の長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図るため、「飛騨市公営住宅等長寿命化計画（平成26年度～平成35年度）」を策定し、計画的な予防保全型の修繕を行っています。

平成31年度も引き続き、計画に基づいた住宅修繕工事を実施します。

3 事業概要

① 河合町嶋団地・中家団地、宮川団地の屋根塗装改修工事（10,300千円）

築17年（平成9年～平成13年の建築）が経過した木造市営住宅について、入居者が安心して暮らせるよう、屋根の塗装工事を実施します。

② 飛騨市公営住宅等長寿命化計画の見直し（ゼロ予算）

長寿命化計画のうち、今後の修繕計画の見直しを行います。



河合町中家団地

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	1 住宅管理費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P.111

継続 住宅新築・購入費用の支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】						
35,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国県支出金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,350</td> </tr> <tr> <td>過疎債</td> <td style="text-align: right;">32,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">650</td> </tr> </table>	国県支出金	2,350	過疎債	32,000	一般財源	650	補助金 35,000
国県支出金	2,350							
過疎債	32,000							
一般財源	650							
(前年度予算 35,000)								

2 事業背景・目的

これまで人口減少対策の一環として、転入世帯、若年世帯及び三世帯同居世帯を中心に住宅取得を支援してきましたが、さらに市内定住を促進するため、平成30年度からは補助要件を緩和し、市内で住宅を新築・購入される全ての方が助成金を受けられる制度に拡充をするとともに、転入世帯の方の助成金額を増額し、移住・定住促進を図りました。また、申請窓口の一本化によりワンストップサービスを図り、市民の方が利用しやすい制度としたところです。

平成31年度も引き続き制度の周知を図り、飛騨市への移住・定住を促進します。

3 事業概要

■対象 市内に定住する目的で住宅を取得される方（年齢制限等なし）

■補助額（基本額+加算額）

①基本額

住宅取得額が1千万円未満	10万円
1～2千万円	20万円
2千万円以上	30万円



②加算額

市外からの転入	50万円を加算
市内業者による新築	20万円を加算
移住世帯の住宅改修	改修費の1/3を加算（上限額100万円）

(事例)

市内在住の方が市内工務店を利用して2,500万円でマイホームを新築した場合
→ 基本額30万円+加算額20万円 = **合計助成金50万円**

■事業期間

平成27年度から平成32年度の6ヶ年

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P.111

継続 住宅性能向上リフォームの支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
40,000	過疎債	40,000	補助金	40,000

(前年度予算 82,500)

2 事業背景・目的

本市の住宅状況は、他の地域と比べて持家の割合が高い一方で、老朽化した住宅が多いことから、安全で快適に暮らせる住宅への転換が必要となっています。

このため、市内に居住している個人住宅において、省エネや安全性など住宅性能が向上するリフォームを支援し、あんきで暮らしやすい住まいづくりを推進します。また当事業は住宅関連産業を中心に好循環拡大に向けての経済対策として実施します。

3 事業概要

■対象

- ・市内で居住している個人住宅のリフォーム工事
- ・性能向上を図るリフォームを含む工事(※)
- ・市内業者が施工する工事
- ・全体工事に要する費用が30万円以上の工事
- ・年度内に完了する工事

※ 住宅性能向上となる工事の例

- 屋根や外壁等の断熱・遮熱改修、塗装
- 外窓交換、内窓設置、ガラス交換
- 段差解消、手すり設置等のバリアフリー化
- トイレ洋式化 ○防犯カメラ設置
- 高断熱浴槽、高効率給湯器の設置 など



■補助率等

- ・対象工事費の20% (上限額 20万円)
- ・300万円以上のローン活用→3万円を加算

■事業期間

- ・平成30年度から平成32年度の3ヶ年

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P.111

継続 ひとり親家庭への住宅支援

(ひとり親家庭応援プロジェクト)

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,400	市民の暮らし応援基金 2,400	補助金 2,400

(前年度予算 1,200)

2 事業背景・目的

平成29年度に実施したひとり親家庭を対象としたアンケート調査において、多くの世帯が経済的に苦慮していることから、持家のない世帯は家賃の安い公営住宅への入居を希望されています。しかし、諸事情により入居選考から外れた方は、やむなく家賃の高い民間アパートで暮らしているのが実情です。

平成31年度も引き続き、こうしたひとり親家庭の生活を改善すべく、家賃等の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を支援します。

3 事業概要

① 民間賃貸住宅家賃補助事業 (2,400千円)

民間賃貸住宅の空き室について、ひとり親家庭支援住宅として募集・登録し、家賃の一部を市が民間賃貸住宅事業者へ補助します。

- 対象 高校生相当以下を養育しているひとり親世帯
(但し、支援期間は「児童扶養手当受給期間」とします)
- 補助額 家賃が 35,000 円となるまでの差額 (上限額 20,000 円/月)
- 登録要件
 - ・耐震基準を満たす集合住宅
 - ・家賃55,000円/月以下の物件

② 特定公共賃貸住宅家賃低減事業 (ゼロ予算)

3ヶ月以上の空き室のある特定公共賃貸住宅・地域優良賃貸住宅(中堅所得者用)を、公営住宅(低所得者用)並みの家賃で提供します。

- 対象 高校生相当以下を養育しているひとり親世帯
かつ月額所得が158,000円以下の世帯
- 家賃 公営住宅法による家賃

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P.111

継続 住宅・民間建築物などの耐震化の促進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
5,229	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">国庫支出金</td> <td style="width: 33%; text-align: right;">1,144</td> <td style="width: 33%;">委託料</td> <td style="width: 33%; text-align: right;">929</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td style="text-align: right;">932</td> <td>補助金</td> <td style="text-align: right;">4,300</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">3,153</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	国庫支出金	1,144	委託料	929	県支出金	932	補助金	4,300	一般財源	3,153			
国庫支出金	1,144	委託料	929											
県支出金	932	補助金	4,300											
一般財源	3,153													
(前年度予算 4,194)														

2 事業背景・目的

近年発生した東日本大震災や熊本地震、大阪北部地震などでは、家屋やブロック塀の倒壊による被害が多数発生し、人命や多くの財産が失われました。このことから、市では平成30年度に、危険なブロック塀の撤去費の支援を新たに追加したところです。

今後も引き続き、建物の倒壊などによる人的・経済的被害を最小限に抑えるために、木造住宅の無料耐震診断や補強工事の補助などを行い、建築物の耐震化を継続して推進します。

3 事業概要

① 木造住宅耐震診断委託 (929千円)

木造住宅の無料耐震診断を実施します。

② 建築物等耐震化促進事業補助金 (2,800千円)

- ・木造住宅の耐震補強をされる方に対し、上限120万円まで支援します。
- ・地域の公民館や一般建築物の耐震診断や工事費の一部を支援します。

③ ブロック塀等の撤去補助金 (1,500千円)

危険なブロック塀を撤去される方に工事費の一部を支援します。

○補助率：1/2 (上限30万円)

④ 耐震化推進ローラー作戦の実施 (ゼロ予算)

古川町・神岡町の市街地を中心に、個別訪問による補助等のPR活動を行います。

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P.111~112

[拡充] 安全・安心な市有建築物の整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
8,858	国庫支出金	6,135	委託料	8,858
	一般財源	2,723		

(前年度予算 1,289)

2 事業背景・目的

市が所有する公共建築物には、市民が広く利用されている公民館や体育館、図書館、市庁舎などの多くの施設があり、将来にわたり最適なサービスの持続を行う必要があります。

施設の長寿命化を図りながら安全・安心に利用できる状態で維持を行うことを目的として、地震に備えた施設整備の検討や法律で定める安全点検などを実施します。

3 事業概要

①【新規】特定天井の調査、改修計画の策定 (4,084千円)

大空間の天井を有する4施設（飛騨市文化交流センター、神岡町公民館、河合町友雪館、神岡町上村地区コミュニティー施設）の調査と耐震改修計画の作成

②【新規】外壁吹付け材のアスベスト含有調査 (4,774千円)

改修や解体が見込まれる28施設の外壁吹付け建材の成分分析調査

③【継続】建築基準法に定める定期点検 (ゼロ予算)

和光園、飛騨市民病院、老人保健施設たかはらの防火設備等の点検

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部都市整備課 TEL0577-73-0153			予算書	P.111

新規 民間が行う宅地分譲整備の支援

1 事業費 (単位：千円) 【財源内訳】 【主な使途】

ゼロ予算

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

市では良好な住宅用地の供給を図るため、これまで諏訪田団地 53 区画(平成 18 年～)や岐阜県住宅供給公社との連携により花もも団地 93 区画(平成 5 年～)などの宅地分譲を進めてきました。

今後は、更に民間活力を活かしながら市内への定住人口の増加を図られるよう、民間事業者が実施する未利用地の宅地開発事業へ支援をおこないます。

3 事業概要

民間事業者が宅地開発による分譲地の整備をおこなう際の上下水道整備工事を支援します。

対象事業：1 団地 3 区画以上の宅地分譲地整備

支援内容：私道・公道内の上下水道本管整備工事(公共樹設置を含む)を市で整備

対象地区：市が行う上水道、公共下水道、農村下水道の地区

予算措置：民間事業者等からの宅地開発申請により、一般会計で工事費を予算措置



(款)	—	(項)	—
所 属	基盤整備部都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書

拡充 市道壺之町線の無電柱化

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
80,000	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">国庫支出金</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">40,050</td> <td style="width: 30%;">委託料</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">3,100</td> </tr> <tr> <td>過疎債</td> <td style="text-align: right;">38,400</td> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">73,900</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">1,550</td> <td>補助金</td> <td style="text-align: right;">3,000</td> </tr> </table>	国庫支出金	40,050	委託料	3,100	過疎債	38,400	工事請負費	73,900	一般財源	1,550	補助金	3,000	
国庫支出金	40,050	委託料	3,100											
過疎債	38,400	工事請負費	73,900											
一般財源	1,550	補助金	3,000											
(前年度予算 13,000)														

2 事業背景・目的

古川町の市街地道路は多くの観光客で賑わう景観スポットであるとともに、学童の通学や生活道路としても利用されています。また、ユネスコ登録された古川祭の屋台の曳行においては、電線等との接触を未然に防止し文化財の保護に努めるとともに、街なみ景観や歩行性の確保、地震や台風等の災害時における電柱倒壊への対策も必要です。

このことから、平成30年度には国のモデル事業の採択を受け、電線管理者、国、県、市等による協議会を立ち上げ、官民連携型の無電柱化事業を開始したところです。

平成31年度も市道壺之町線の無電柱化について、国の2つの事業を活用し、事業を推進します。

3 事業概要

①【拡充】官民連携無電柱化支援事業 (L=100m)

市道壺之町線電線地中化事業に対し電線管理者への補助金 (3,000千円)

市がおこなう道路整備にあわせて電線管理者が自ら行う地中化工事に対し、その整備費を補助します。平成31年度からは工事に着手する予定としており、あわせて協議会において簡便な方法等や費用の縮減等の検討を行います。

○電線地中化工事 L=100mのうち一部 H32まで段階的に施工

②【拡充】街なみ環境整備事業 (L=560m)

市道壺之町線電線地中化工事、引込み管等設計 (77,000千円)

官民連携無電柱化支援事業による技術面等の実績を生かし設計・施工を実施します。

○電線地中化及び引込連携等整備工事 L=560mのうち一部 H35まで段階的に施工

○引込連携等詳細設計 L=560m

③【新規】無電柱化事業計画の策定 (ゼロ予算)

無電柱化の対象路線、整備スケジュールなどの将来計画を作成します。

(款) 8 土木費	(項) 2 道路橋梁費	(目) 2 道路新設改良費	
(款) 8 土木費	(項) 5 住宅費	(目) 2 住宅対策費	
所 属	基盤整備部都市整備課 TEL0577-73-0153		予算書 P.108・111

継続 神岡地区街なみ環境整備事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
60,100	国庫支出金 30,000 過疎債 30,000 一般財源 100	工事請負費 60,100
(前年度予算 13,100)		

2 事業背景・目的

神岡町市街地は鉱山町として栄えた「昭和の街」として、懐かしい面影を今も残しています。共同水屋・土蔵群・町家等の歴史資源や清流高原川等の豊かな自然を活かした魅力あるまちづくりをさらに推進し、観光振興による地域の活性化を図ることを目的として、街なみ環境整備事業計画に基づき、市道の修景整備を継続して実施します。

3 事業概要

神岡町まち歩きのルートとなっている路線の道路美装化整備を行います。

- ・市道蟻川～栄線 (舗装・側溝蓋の修景整備) L=280m
- ・市道蔵前～西校線 (舗装・側溝蓋の修景整備) L= 80m



美装化を行う市道蟻川～栄線



街歩きガイドによる街並み散策

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P.111